(別添3)

【羽生市】
校務DX計画

1 1人1台端末（指導者用）の整備

令和3年度の校務用PC端末の更新により1人1台端末（指導者用）の整備を完了しました。

2 ネットワーク環境

羽生市では、文部科学省が示す学校規模ごとの1校あたりの帯域の目安（当面の推奨帯域）の値を参考に、令和8年3月までにネットワークアセスメント等から課題を特定し、順次改善策の検討を開始します。

3 校務のデジタル化

羽生市では、校務系ファイルサーバーを使用し、学校-学校間、市教育委員会-学校間の文書連絡・資料送付等に活用できる仕組みとなっています。さらに保護者の連絡アプリを導入しており、保護者の連絡についても教職員の負担軽減やコミュニケーションの迅速化ができる環境となっています。今後は、羽生市DX推進計画（令和4年3月作成）に基づいた校務DXの研究に取り組み、緊急連絡や教育ネットワークの不具合時、FAXのほうが電子メール等より効率的な場合など一部を除き、FAX及び押印の原則廃止に向けて、検討を行います。

4 AI・RPA等を活用した業務効率化

羽生市DX推進計画（令和4年3月作成）に基づき、ペーパーレス会議システムやPDF編集ソフト等の導入を検討し、ペーパーレス化を推進し、文書管理・電子決済システムについて導入を検討します。